

設備工事情報シート	衛生	Ⅱ-P-16-改 ₁	制定	2008年4月1日
			改訂	2015年3月1日
機器・材料	雨水貯留浸透施設		ニュートレンチくん 秩父ケミカル編	

1. 目的・概要

近年、都市化の進展により、建物・道路等の不浸透域が拡大したことにより、各地で都市型水害の発生が頻発している。この対策として、各自治体より雨水貯留浸透施設の設置が指導されている。従来、碎石浸透トレンチ・浸透井戸・コンクリート製貯留槽等が設置されてきたが、ニュートレンチくんは貯留効率の良さより施設規模の縮小。軽量かつ部材の少なさより工期の短縮が可能。構造により雨水配管として設置可能。再生原料使用により環境問題に対応等の効果が期待できる。

2. 施工手順および注意ポイント



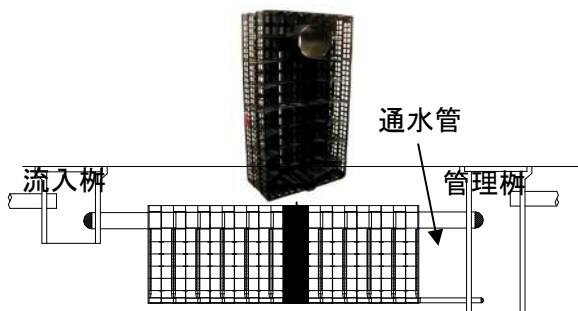
掘削・透水シート敷設



ニュートレンチくん組立



埋め戻し



完成構造図

- (1) 掘削
掘削深は雨水管の管底、土被りに応じて決定する。
掘削幅は0.8m以上とする。
勾配は原則レベルとする。
- (2) 透水シート敷設
設置後にユニット全体を覆えるように、専用の3.5m幅の透水シートを敷設する。
- (3) ニュートレンチくん組立
内蔵管を接続し、ユニット同士を付属のジョイントにより接続する。
- (4) エンドカバー取付
組立てた列の両端にエンドカバーを取付ける。
- (5) 樹との接続
流入樹とニュートレンチくんをφ150mm塩ビ管で接続する。
管理樹とニュートレンチくんを、上部はφ150mm、下部はφ50mmの塩ビ管で接続する。
- (6) フィルター設置
φ150mm・50mmの管口にゴミ除けフィルターをセットする。
- (7) 埋め戻し
両側面に、均等に土が入るよう埋め戻しを行なう。埋め戻し終了後、転圧・締め固めをしっかりと実施する。
特に樹とニュートレンチくんの接続部分は入念に実施する。（圧密沈下が発生する可能性あり。）
- (8) 敷設後の注意
工事期間中、ニュートレンチくんの上部を車輛・重機等が通行する場合、耐圧強度以上の力がかかる場合があるので、敷鉄板で保護処置を講じる。

※ニュートレンチくんの採用にあたっては、事前に自治体との協議が必要である。

